

5-6. 基本構想図

前項までのゾーニング計画、動線計画、導入施設計画の検討をまとめ、基本構想図を作成した。

■ 凡 例

□ 計画対象地

□ 鎌倉中央公園

— 水路

— 台峯緑地 散策路

— 鎌倉中央公園 散策路

WC トイレ・更衣室

P 駐車場

★ 休憩施設（ベンチ他）

管理施設（備品倉庫・バックヤード）

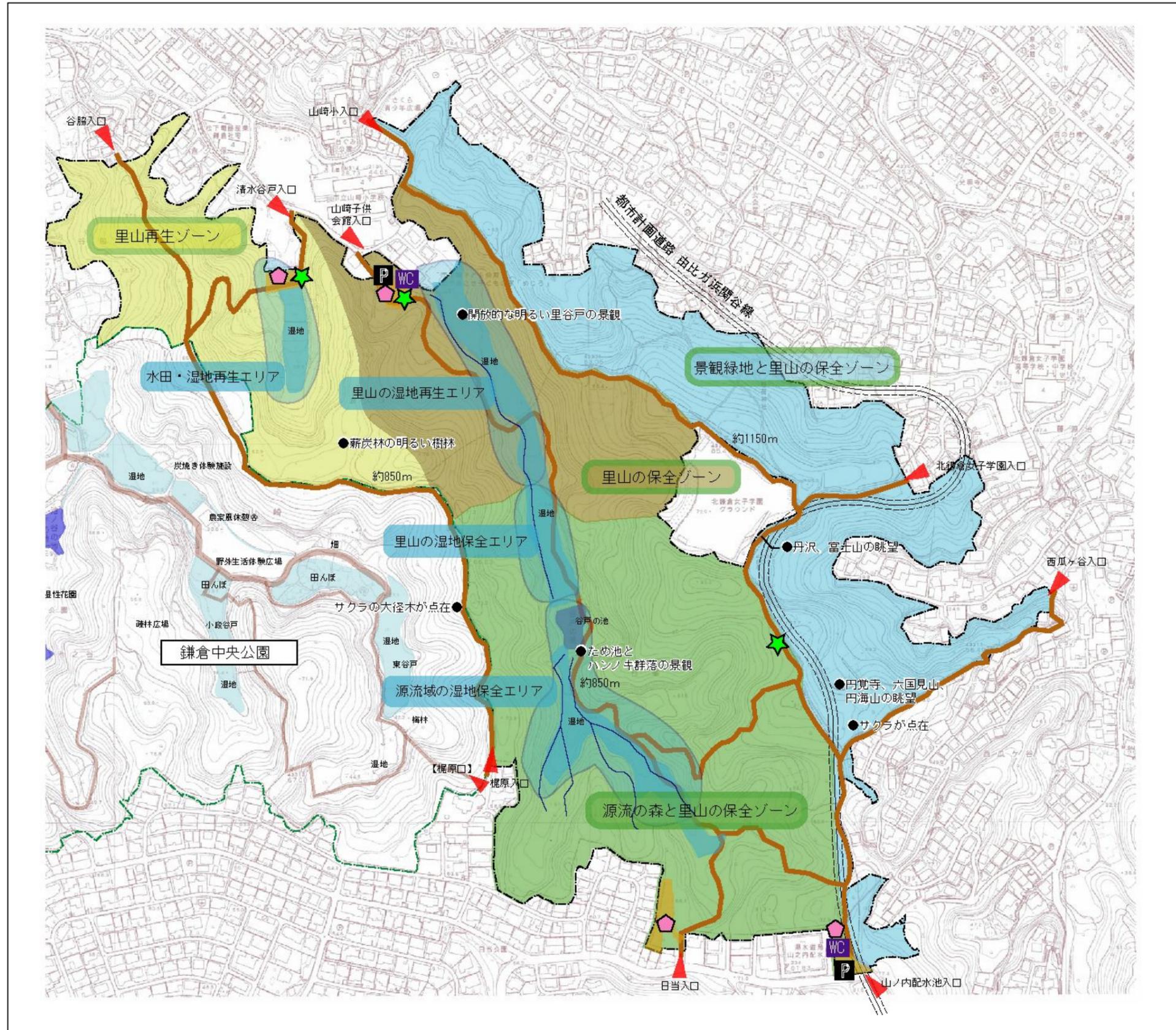
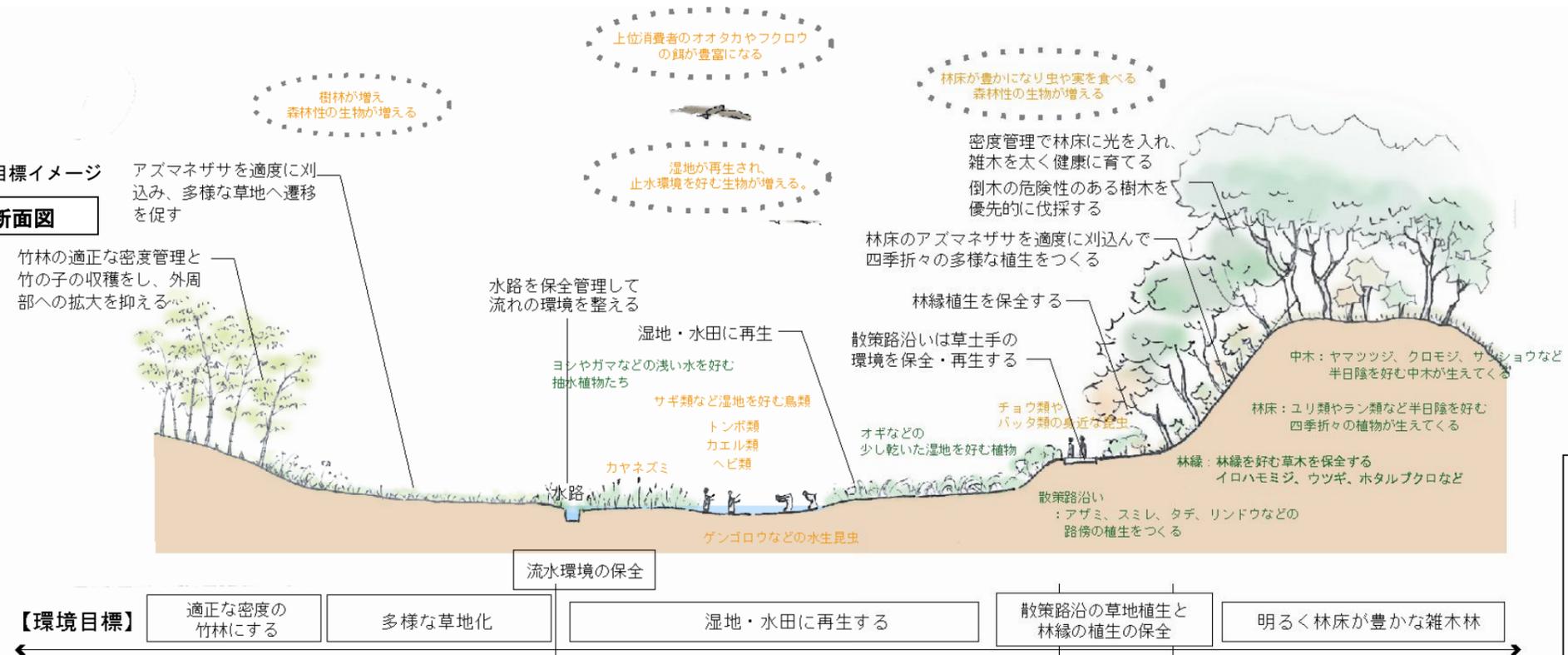


図5-20 基本構想図

図5-21  
基本構想の目標イメージ

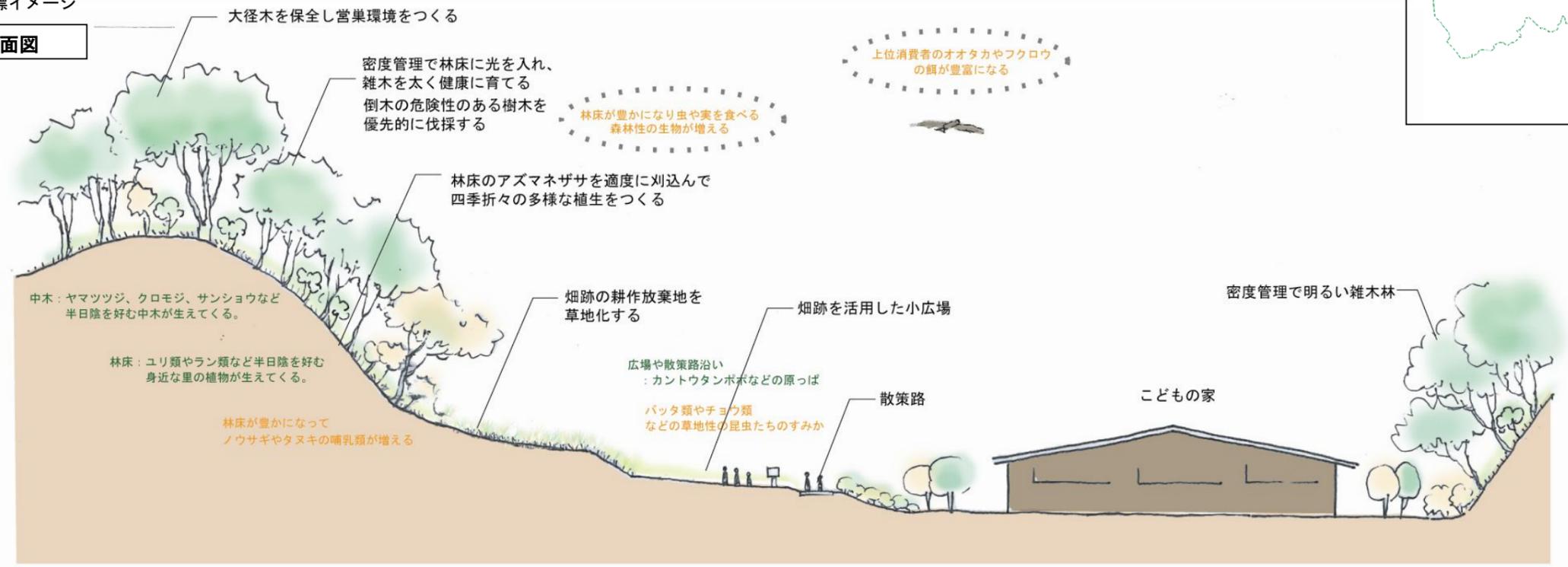
A-A断面図



【環境目標】	適切な密度の竹林にする	多様な草地化	湿地・水田に再生する	散策路沿の草地植生と林縁の植生の保全	明るく林床が豊かな雑木林
【現況】	竹林 (長年放棄され、高密度化し、周囲の植生を侵食しながら拡大する傾向にある。)	アズマネザサ群落 (放棄された畑が高い密度でアズマネザサに覆われて植生も生物相も貧弱になっている。)	畑地雑草群落 (放棄された水田が湿地化した。ヨシ等の枯草が堆積して草地化が進行している。)	散策路	オニシバリ-コナラ群集 (コナラの薪炭林。薪や肥料に利用されなくなり人の手が入らず過密化。林床に日が入らないため林床の植物が貧弱。アズマネザサに覆われ生物相も貧弱になっている。)

図5-22  
基本構想の目標イメージ

B-B断面図



【環境目標】	明るく林床が豊かな雑木林	原っぱの環境をつくる	広場として活用	散策路	子どもの家	明るく林床が豊かな雑木林
【現況】	オニシバリ-コナラ群集 (コナラの薪炭林。薪や肥料に利用されなくなり人の手が入らず過密化。林床に日が入らないため林床の植物が貧弱。アズマネザサに覆われ生物相も貧弱になっている。)	畑地雑草群落 (放棄された畑がクズに覆われ遷移が停止。植生、生物相が単純になっている。)	散策路	散策路	子どもの家	オニシバリ-コナラ群集

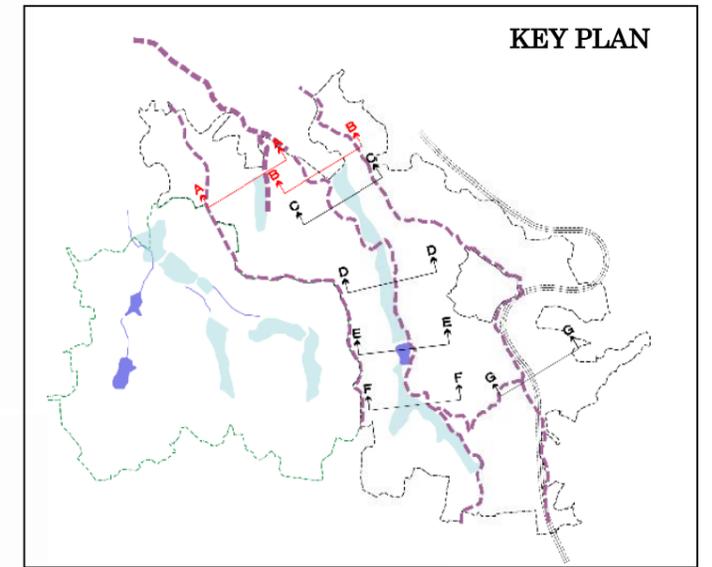
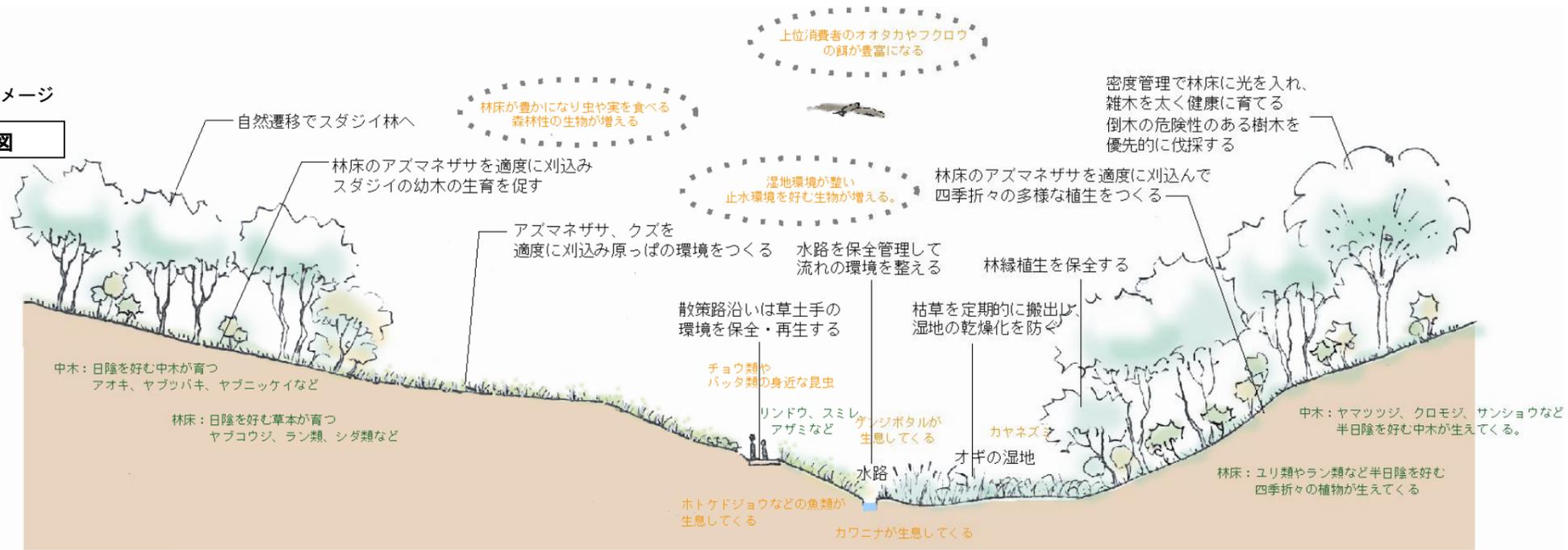
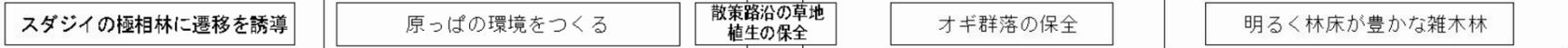


図5-23  
基本構想の目標イメージ

C-C断面図



【環境目標】



【現況】

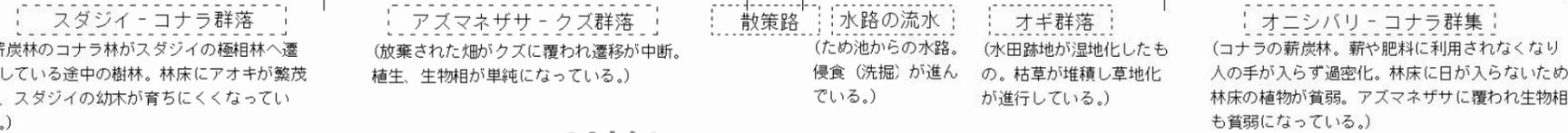
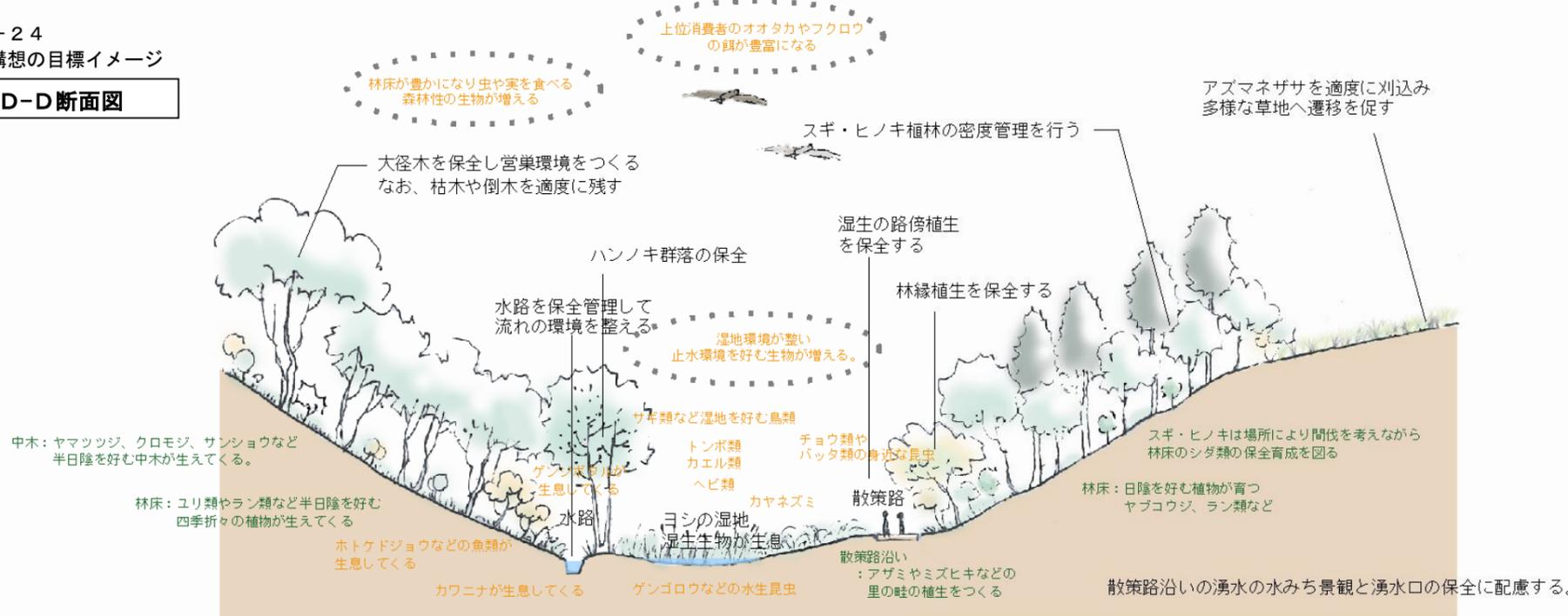


図5-24  
基本構想の目標イメージ

D-D断面図



【環境目標】



【現況】

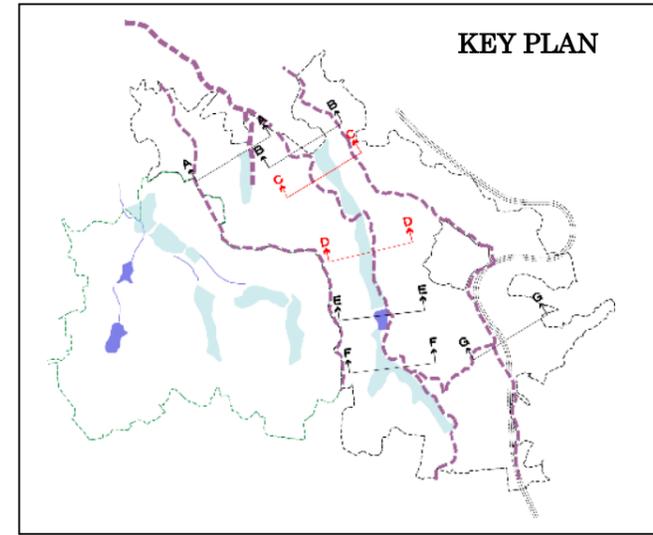
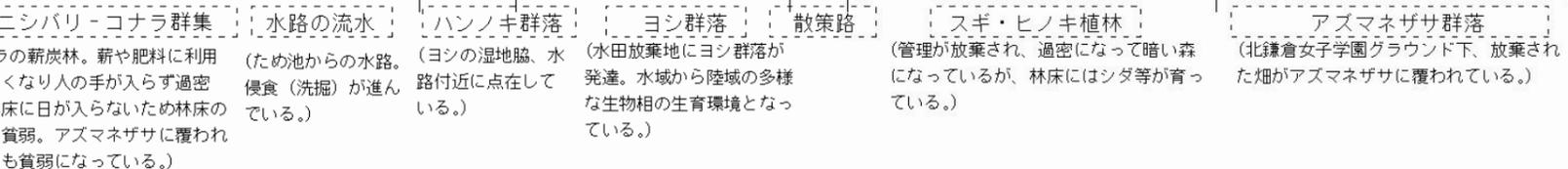
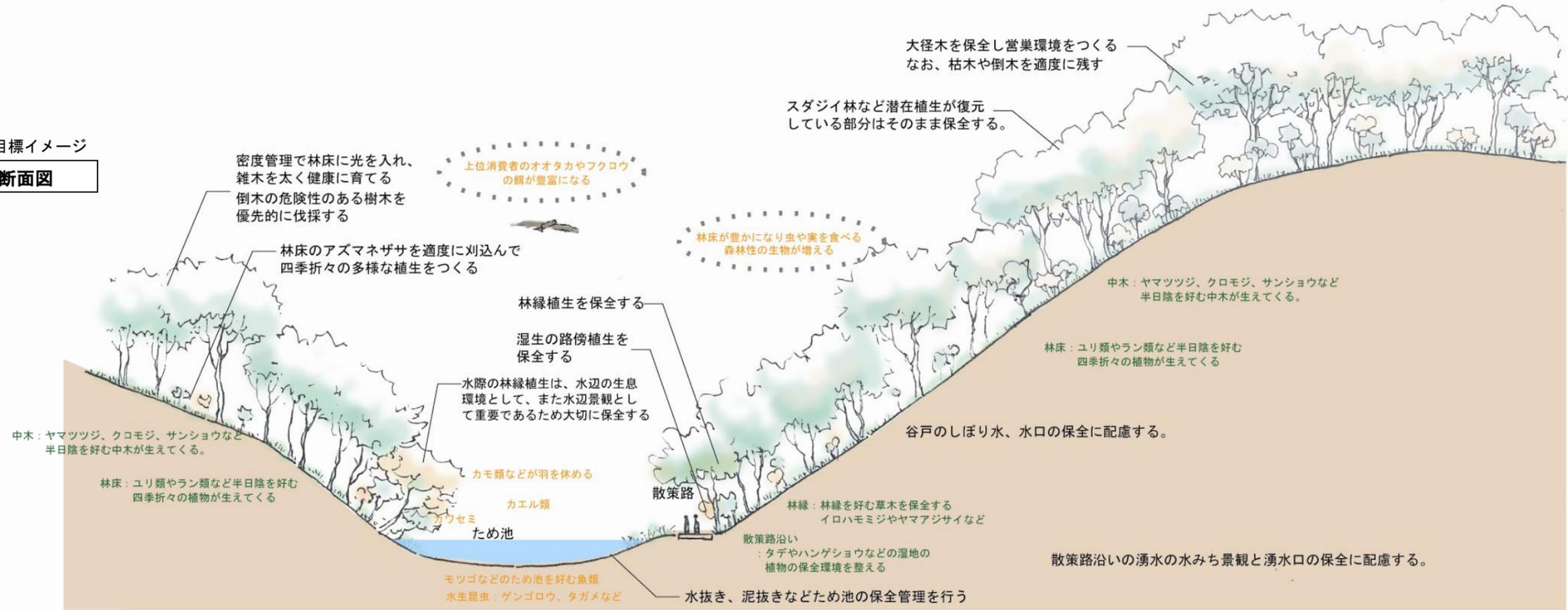


図5-25  
基本構想の目標イメージ

E-E断面図



【環境目標】

明るく林床が豊かな雑木林

ため池の保全

路傍と林縁の植生の保全

明るく林床が豊かな雑木林

【現況】

オニシバリ-コナラ群集  
(コナラの薪炭林。薪や肥料に利用されなくなり人の手が入らず過密化。林床に日が入らないため林床の植物が貧弱。アズマネザサに覆われ生物相も貧弱になっている。)

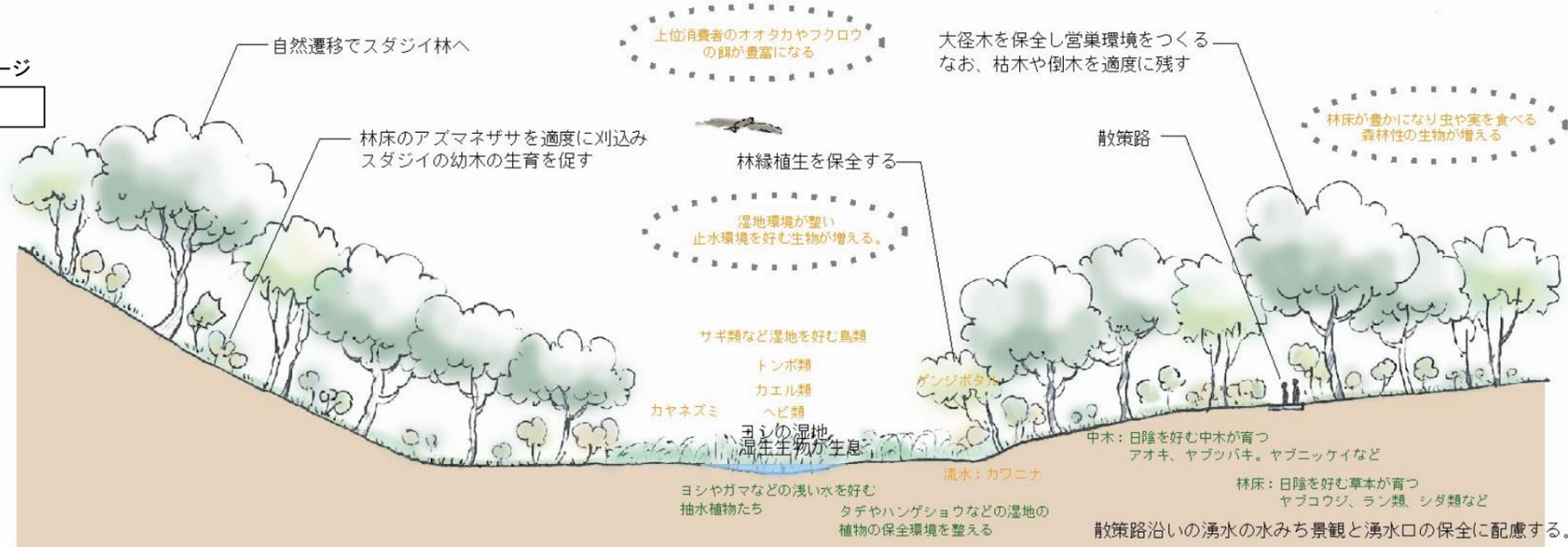
開放水面  
(上流の湧水を貯めて水田耕作に使われていた池。)

散策路

オニシバリ-コナラ群集

図5-26  
基本構想の目標イメージ

F-F断面図



【環境目標】

スタジイの極相林に自然に遷移

ヨシ群落の保全

流水環境の保全

スタジイの極相林に自然に遷移

【現況】

スタジイ-コナラ群落  
(薪炭林のコナラ林がスタジイの極相林へ遷移している途中の樹林。林床にアオキが繁茂し、スタジイの幼木が育ちにくくなっている。)

ヨシ群落  
(ため池上流の水田放棄地が湿地化したもの。)

湧水の流れ  
(上流部の湧水が集まって小さな網目状の流水環境をつかっており、そこにカワナ、ゲンジボタルが生息している。)

スタジイ-コナラ群落

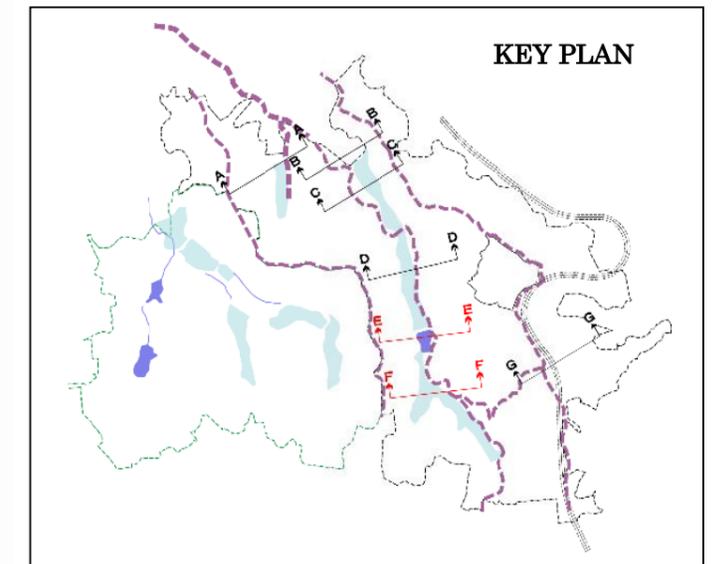
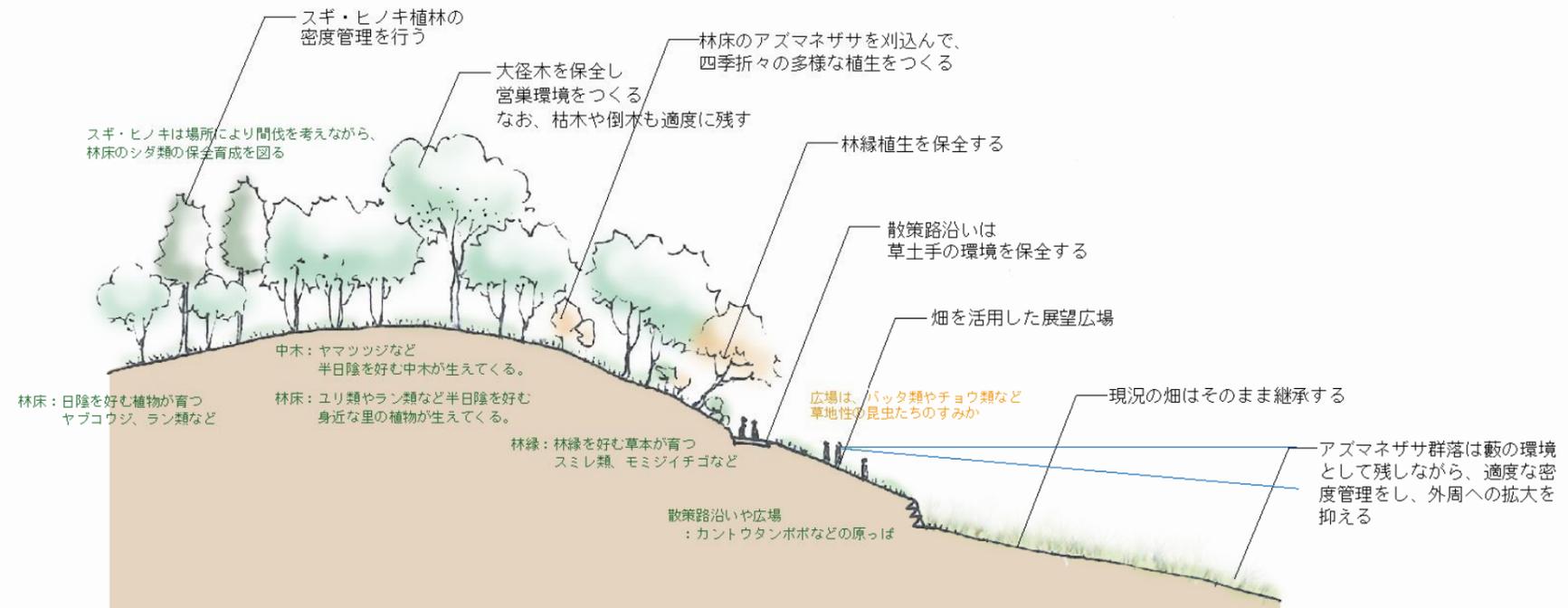


図5-27  
基本構想の目標イメージ

G-G断面図



	展望広場として活用					
【環境目標】	適度な密度管理	明るく林床が豊かな雑木林	散策路沿の草地植生と 林縁の植生の保全	原っぱの 環境をつくる	畑はそのまま継承する	アズマネザサ群落は適度な密度管理をし、 拡大を抑える
【現況】	「スギ・ヒノキ植林」 (管理が放棄され、過密になって暗い森 になっているが、林床にはシダ等が育っ ている。)	「オニシバリ・コナラ群集」 (コナラの薪炭林。薪や肥料に利用されなくな り人の手が入らず過密化。過密のため木が貧 弱。林床もアズマネザサが繁茂し、植生が単純 で生物も単純化。)	「散策路」	「畑地雑草群落、アズマネザサ群落」 (畑として利用されており、一部の放棄地がアズマネザ サ群落に覆われている。)		

